

令和5年度 広島支部事業計画及び 支部保険者機能強化予算の策定に向けた 意見聴取について



令和5年度 広島支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定について

1. 協会けんぽの基本使命

健康保険事業及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る。

基本使命実現のため、「保険者機能強化アクションプラン」を策定
協会けんぽの役割を「**基盤的保険者機能関係**」、「**戦略的保険者機能関係**」、
「**組織・運営体制関係**」に分類し、目的・目標を定めている。

2. 支部保険者機能強化予算について

47都道府県支部が**地域性を踏まえた独自の取組を意欲的に行うことで、基盤的保険者機能や戦略的保険者機能を一層発揮できるよう**、令和元年度から支部保険者機能強化予算を創設。

翌年度、支部の保険者機能を発揮するために何が必要なのか、費用対効果はどうかなど、評議会の意見も踏まえながら検討を進める。

令和5年度 広島支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定について

3. 策定に関するスケジュールの見直し

適用情報、医療費情報及び健診情報等のエビデンスに基づき、支部の課題を抽出し、現状を整理・把握したうえで事業を実施するため、今年度策定する令和5年度の支部事業計画及び支部保険者機能強化予算より、策定に関するスケジュールの見直しを行った。

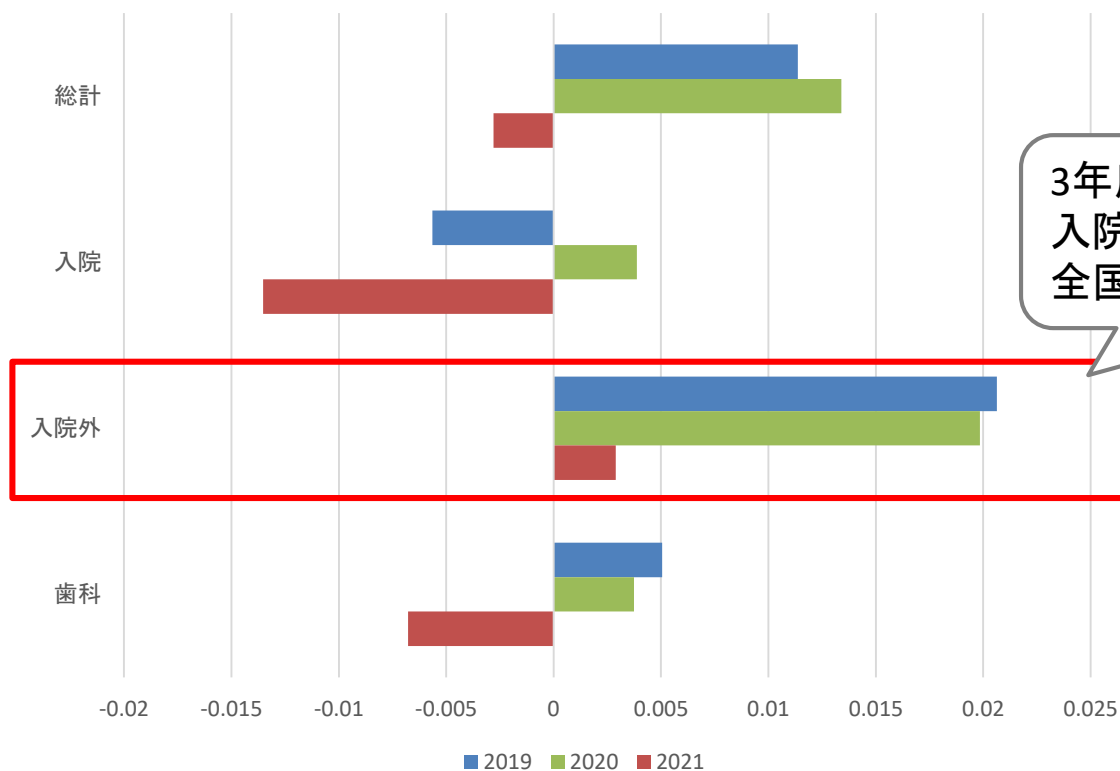
評議会で諮る事項	時期	
	従前	今年度
次年度の事業計画・保険者機能強化予算についての意見聴取	7～9月	10月
次年度の事業計画（KPI）案・保険者機能強化予算（案）を提示	10月	1月
本部承認後の次年度事業計画（KPI）・保険者機能強化予算を報告	3月	3月

令和5年度 広島支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定について

4. 広島支部の現状

○医療費情報

1人当たり医療費の地域差指数-1*



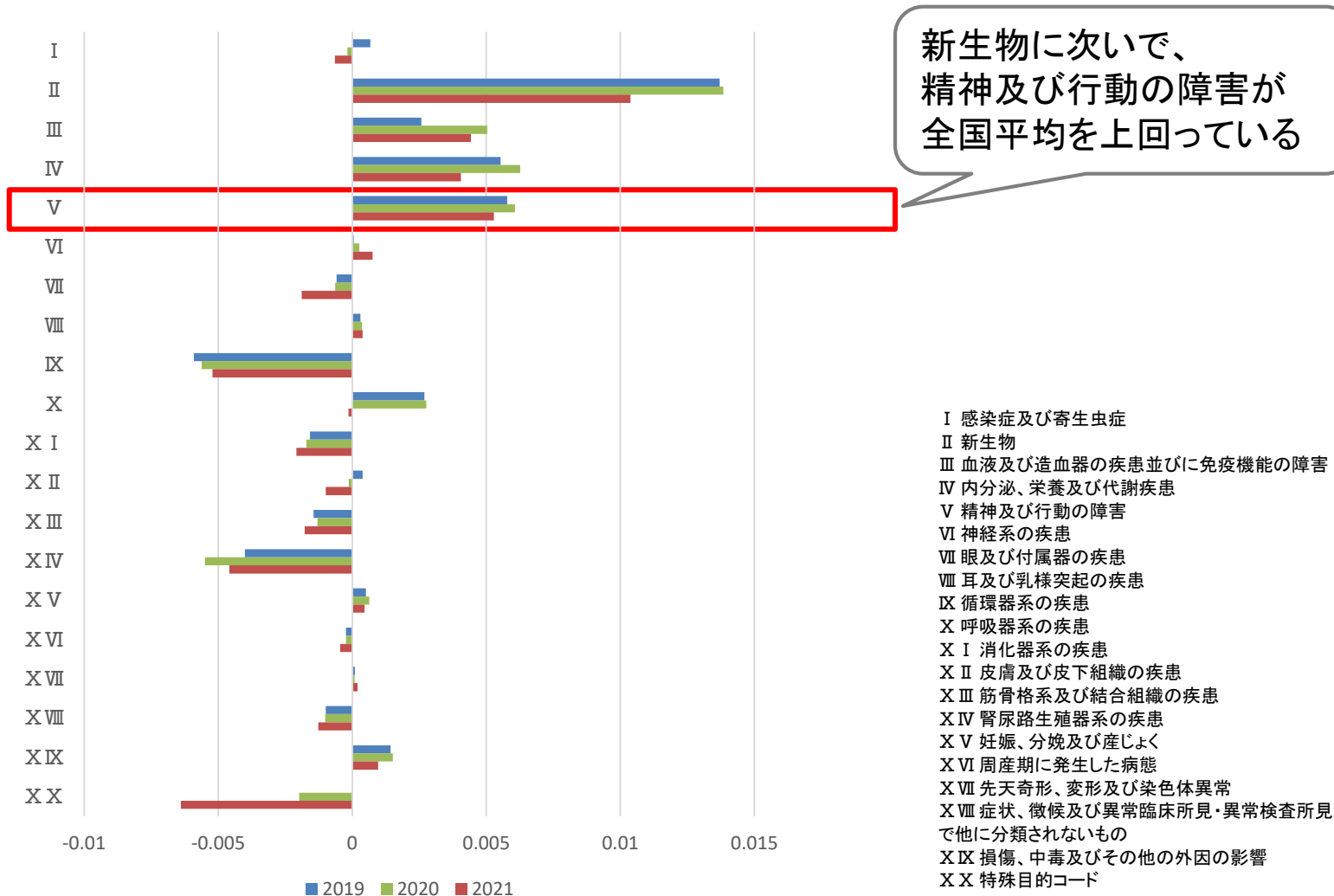
3年度とも、
入院外医療費(調剤含む)が
全国平均を上回っている

*地域差指数-1
医療費等の地域差を表す指標として、
1人当たり医療費等について年齢調
整し、全国平均を0として指数化した
もの。
0より大きい数値であれば、全国平
均より高い水準にあり、0より小さい
数値であれば、全国平均より低い水
準にあることを示している。

4. 広島支部の現状

○医療費情報

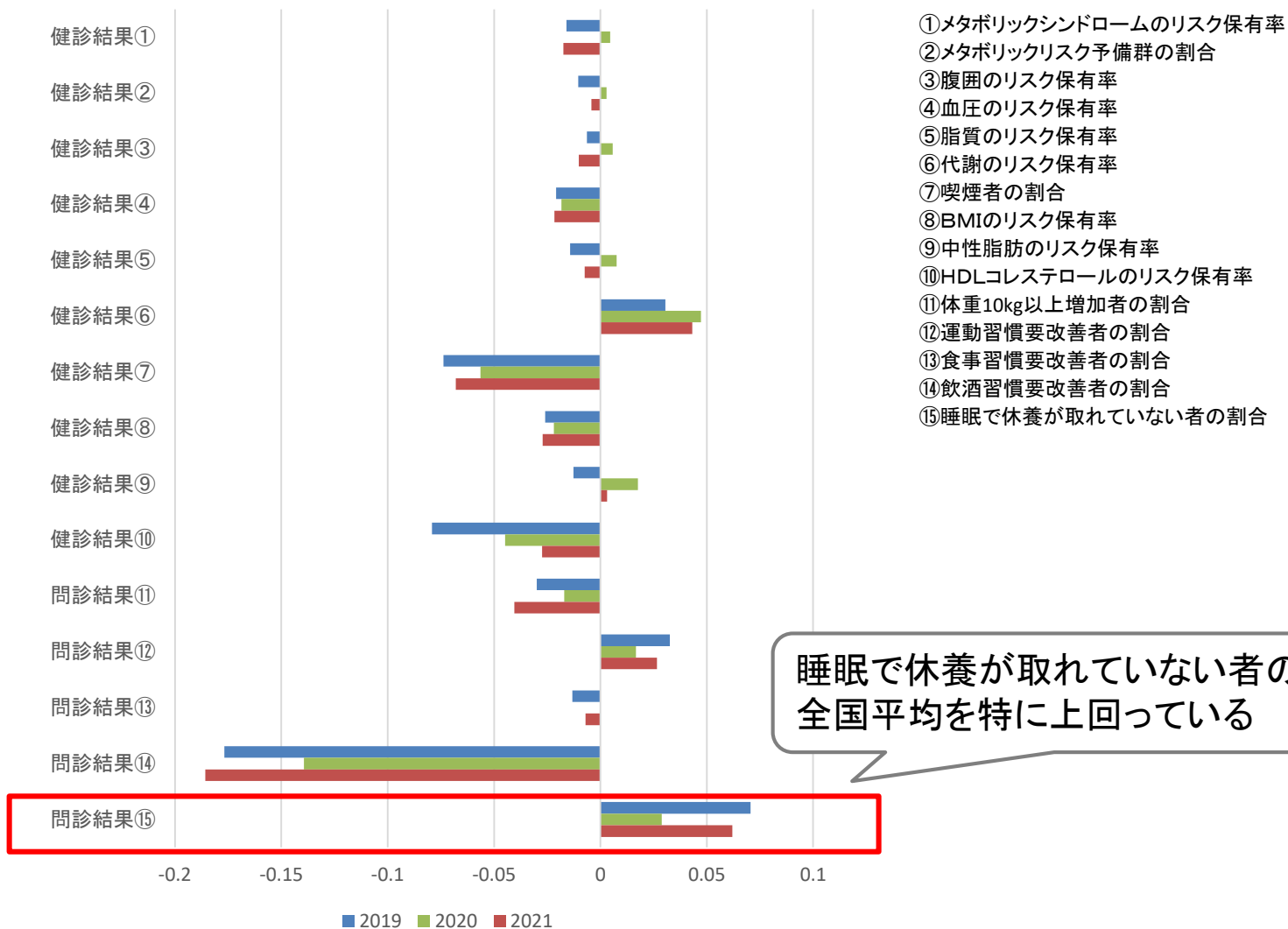
疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)



4. 広島支部の現状

○健診情報

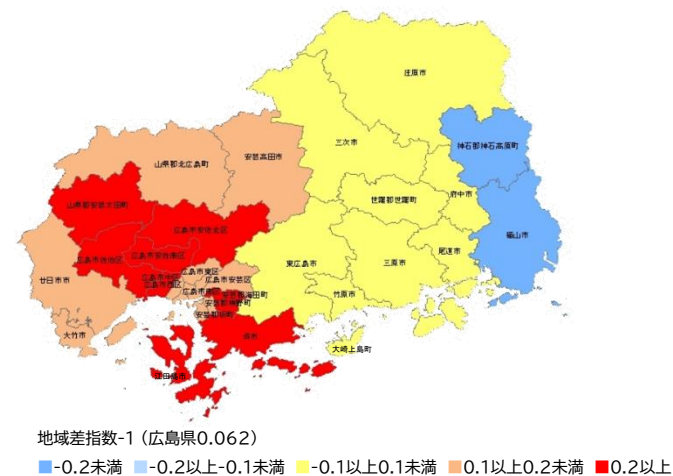
健診結果及び問診結果の地域差指数-1の寄与度



5. 課題

- 精神及び行動の障害による入院外医療費が全国平均を上回る
- 睡眠で休養が取れていない者の割合が全国平均を大きく上回る
(地域別で比較すると、広島県西部が高い傾向)

※睡眠で休養が取れていない理由としては、睡眠の「量」又は「質」に問題がある可能性がある。また、肥満・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の合併症として「睡眠時無呼吸症候群」を発症していることも多く、睡眠で休養が取れていない理由の一因となりうる。さらに、5時間未満の睡眠は生活習慣病につながり、心の健康にも影響を与える。



→ **メンタルヘルス・労働生産性の向上に向けた対策が課題ではないか**

6. これまでの取組等

- プレゼンティーズムの改善を目的としたパンフレットを、健康保険委員約8,800名に送付(令和4年8月)。併せてホームページにも掲載。
- 事業所向け無料健康づくり講座(健康宣言事業所特典)にメンタルヘルス講座を用意。22事業所が利用(令和4年8月時点)。
- メンタルヘルス対策として、課題の把握とデータ分析を実施予定(今年度)。
- ヘルスケア通信簿から自社で健康課題を考え、健康宣言へとつなげていたが、データを活用し、事業所ごとの特性を踏まえた対策の提案が必要。

7. 今後の重点施策

- ヘルスケア通信簿送付時に、ヘルスケア通信簿の問診結果から睡眠で休養が取れていない者の割合が平均以上の事業所に対して、予防などを目的として健康宣言事業所の付加価値である事業所向け無料健康づくり講座の利用勧奨と、産業保健総合支援センターの活用の周知を行う
- (検証方法)健康宣言の参加や健康づくり講座の利用、睡眠で休養が取れていない者の割合の推移を比較する